

「憲法九条を守るわかやま県民の会」 ニュース

NO.109 09.12.16 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

JR和歌山駅前で9日宣伝

“手をゆるめず9条守ろうの声をひろげよう”



12月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。12月だと言うのにあまり寒くなく8人の参加者で元気いっぱい道行く人々にチラシを配り、マイクで宣伝しながら署名を訴えました。マイクを握った参加者は、それぞれ「総選挙での自公の惨敗は改憲を進める自公政権への国民の怒りの現れ。」「新政権を担う民主党の鳩山代表も新憲法草案で9条を変えて自衛軍を持つと言っています。」「手をゆるめず9条まもろうの声を広げよう」と訴えました。バスから降り立った高校生が何人も署名してくれる姿が目立ちました。この日、1時間で52筆の署名が集まりました。

和歌山市が一斉署名宣伝行動

37人で166筆

11月29日(日)和歌山市共同センターが呼びかけた第9回一斉署名宣伝行動が行われました。この日、午前中は楠見、和歌浦・名草が地域へ入り、ひがし9条の会はJR駅東口でそれぞれ宣伝署名行動を行いました。午後1時から2時までは、「県民の会」と共催でJR和歌山駅西口で行いました。参加者は37人で、署名は166筆集まりました。

JR和歌山駅では、大学で元大阪府知事の黒田さんに憲法を覚えてもらったという人が署名してくれました。和歌浦・名草では「もっと大きく宣伝したらいい」「アメリカのいうとおりにしたらあかん。思いやり予算は反対や」などの声が出されていました。

なお、和歌山市では「きし9条の会」が11月15日に地域行動を行いました。

楠見地域

7人の参加者で3組で地域を廻りました。訪問件数は86件、対話件数は43件、留守

が43件、署名軒数は31軒、署名筆数34筆でした。

30歳前後の人が、納得しなければ署名できないと言うので、自衛隊の海外派兵などをめぐって10分くらい話をして、わかってもらって署名をしてもらいました。40歳くらいの女性は今の政権は改憲しないだろうからと言って署名をしてくれませんでした。また、高校生が子供でもよいかと言って署名してくれました。事前ビラを入れていたこともあり全体的に反応はよかったです。(萩田)

川村俊夫氏が講演

09年度憲法会議総会開かれる



11月25日(水)18時より和歌山市勤労者総合センター6階ホールで09年度の和歌山憲法会議の総会が開催され40人が参加しました。活動方針の中で、9条を守る運動とともに、貧困と格差の拡大、社会保障の削減などに国民生活が大きな困難に直面している中、25条(生存権)、27条(勤労者の権利と労働条件の基準)、28条(勤労者の団結権)など日本国憲法の平和的、民主的諸原則を広く国民の中に普及し、憲法が諸要求実現の運動のよりどころとなるよう学習運動を広げることが強調されました。

つづいて中央憲法会議の代表幹事である川村俊夫氏より「新政権下の憲法をめぐる情勢」と題した講演が行われ、次のような諸点が強調されました。

民主党は国民世論の動向もあり一面では憲法審査会へ名簿不提出の態度を表明するなど今のところ改憲に慎重姿勢をとっている。しかし財界やアメリカとの関係では従来の枠を抜け出していないため、普天間基地移転問題では揺れ続けている。さらに、「国会改革」の名で、憲法解釈について内閣法制局長官の過去の答弁に縛られず「政治主導」で決めていくとの見解を示している。これは「国連の決定があれば武力行使は憲法上許される」などの解釈改憲を歯止めなく、推し進める危険性を持つものだ。また、民主党の「憲法提言」や鳩山代表の「新憲法試案」に見ら

れるように改憲の基本方向を持っているなかで、ひきつづき手を緩めることなく9条を守る運動を広げなければならない。

きのくに9条の会が第5回総会

バザー、講演、青年の発言、紙芝居、ストレッチ体操など多彩に

2009年11月23日(月)午後、和歌山県民文化会館で「きのくに9条市民の会」の第5回総会が開かれました。恒例のバザーの後、開会。

記念講演で和歌山憲法会議事務局長の坂本文博氏が「新政権下の9条をめぐる動き」と題して、講演。総選挙で改憲を推進してきた自公政権の退場は一步前進である。新政権の中心を担う民主党は、もともと改憲を掲げている政党であり、手をゆるめることなく9条を守る運動を広げようと訴えました。

次に、原水禁世界大会に参加した3名の青年が、青年らしい感覚で核兵器廃絶と平和の



大切さを訴えました。

つづいてベトナム戦争を題材にした紙芝居があり、鑑賞した参加者は戦争の悲惨さ、平和の尊さをあらためてかみしめました。

ストレッチ体操で体をほぐして休憩後、第5回が行われ、活動報告と取り組み方針を承認、世話人を選出して終了しました。

「9条の会」近畿交流会

700人参加「9条を活かす活動の強化を」

12月13日(日)「9条の会」近畿ブロック交流集会在関西大学で開かれ、2府4県から700人が参加。和歌山からも、各「9条の会」から23人が参加しました。渡辺治・一橋大学教授が講演し、鳩山政権が解釈改憲を進める危険性を指摘。9条を活かす活動の強化を訴えました。三つの分科会と分散会で取り組みの交流を行いました。青年・学生分科会では「戦争体験出前断」を行っている南部町の本田立太郎さん(95歳)がトークしました。また会場入り口付近では、和歌山からの参加者が「9条せんべい」を販売していました